

## 偏光装置のセットアップ

1. 鏡筒固定ネジを緩めて鏡筒をはずし、図1に示す位置にアナライザをセットします(中心に置くだけです)。アナライザセット後、鏡筒を再装着し、鏡筒固定ねじを締めます。 ※
2. ポラライザを視野絞りの上に置きます(図2)。
3. ステージに標本のない状態で顕微鏡を覗きながらポラライザを回転させ、視野内が最も暗くなるようにします。この位置がクロス・ニコル(直交ニコル)の状態、ポラライザとアナライザの振動方向が直交した位置です。クロス・ニコルに調整後、標本をステージに置き、偏光観察を行います。

※BM-3400TTRの透過照明において簡易偏光装置を使用する場合には、アナライザは鏡筒内に取り付けられているものを使用し、ポラライザのみを視野絞りの上に置いてください。アナライザはアナライザ・レバーにより鏡筒内に配置されます。



図1：アナライザをセットします



図2：ポラライザを視野絞りの上に置きます。